	IMI <i>PHARMATRAIN</i> SYLLABUS THE SYLLABUS FOR PHARMACEUTICAL MEDICINE / DRUG (V2.0; January 2018) 和訳	日程 2024/25年	講師
	Andrew Alth		
	SECTION 1. 創薬		
1.1	共同研究(産学連携等)を含む研究の戦略と組織体制	2024/4/2	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
1.2	疾患モデル;ターゲットの認識、評価、選択	2024/4/4	第一三共株式会社 岩垂勇人
1.4	その他の治療アプローチ:和漢医薬、薬剤結合型機器、先進医療 例:遺伝子治療、細胞療法、組織工学	2024/4/8	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
1.3	受容体に基づく取り組み:アゴニスト、アンタゴニスト、酵素阻害剤;ジェノミクス、プロテオミクス	2024/4/11	第一三共株式会社 岩垂勇人
1.5	更なる開発に向けたHitからリード、リード品目の最適化と開発候補の選択	2024/4/17	第一三共株式会社 岩垂勇人
1.6	新規化合物のイン・シリコ、イン・ビトロおよびイン・ビボでの試験	2024/4/19	第一三共株式会社 岩垂勇人
1.8	動物とヒトの薬理学、分子生物学、生理学的な関係 例:バイオマーカー、機能的イメージン グ、モデリング、シミュレーション	2024/4/23	株式会社リニカル 福崎厚
1.7	トランスレーショナルメディシンの基礎	2024/4/25	株式会社リニカル 福崎厚
	SECTION 2. 医薬品開発:計画		
2.1	企業および国際的なレベルでの新薬の包括的開発に必要な要素と機能	2024/5/1	順天堂大学免疫治療研究センター 前原由依
2.2	品質マネシ・メント計画	2024/5/7	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
2.3	プロジェクト管理の手法:TPPとTPCから申請に至るまでの開発計画、プロジェクトチーム、 ツール、意思決定の中心的役割	2024/5/13	順天堂大学免疫治療研究センター 前原由依
2.4	特殊集団(例:高齢者、小児、希少疾患患者、禁治産者)に対するプログラムの計画	2024/5/15	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
2.5	途上国における開発プログラム	2024/5/17	順天堂大学免疫治療研究センターが原由依
2.7	リソース計画:予算化、経費管理	2024/5/21	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
2.8	医薬品開発に関する企業財務:財務管理、投資利益率、固定資産、予算、会計、収益	2024/5/23	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
2.6	ライセンス・イン/アウトを含めたR&Dのポートフォリオ計画(事業開発)	2024/5/27	順天堂大学免疫治療研究センター 前原由依
	SECTION 3. 非臨床試験		
3.1	新薬の薬理研究に対する疾患機序に関するイン・シリコや動物・細胞モデル		
3.2	小分子化合物、生物製剤、先進医療における非臨床安全性と毒性パッケージ面での 相違点	2024/6/4	第一三共株式会社 後藤浩一
3.3	遺伝毒性・一般毒性・トキシコキネティクスによる質的量的な評価につながる動物やヒトや細胞調整物でみられる化合物や代謝産物の薬理と毒性に関する類似点・相違点、	2024/6/6	第一三共株式会社 谷吉朗
3.4	イン・シリコ、イン・ビトロとイン・ビボーでの定性的・定量的評価の目的:急性および慢性の薬物 投与における適切な検査の選択		
3.5	薬物による臓器障害・機能不全に共通するメカニズム: 探索と解明:病理学的評価 例: 構造的染色や免疫組織化学: 機能的評価 例:QTcインターバル検査、肝・肺の機 能検査	2024/6/10	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音

3.6	開発計画、薬事上の対応、臨床・非臨床薬理、目的とする臨床使用や投与経路をふまえた毒性試験のスケジュール化		
3.7	毒性試験計画、データマネジメント、品質保証、報告書作成の規模・費用・管理		
3.8	定期的毒性レビュー、臨床試験プロコルや治験薬概要書への反映、被験者での発生が考えられる・実際に観察された毒性との相関	2024/6/12	第一三共株式会社 石坂智路
3.9	小分子・高分子化合物の過敏症を含めた安全性薬理		
3.10	トキシコキネティクス;イン・ビトロとイン・ビボ・試験;吸収・分布・代謝・排泄(ADME)	2024/6/14	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
	生物製剤、ワクチン、先進医療における非臨床試験 例:遺伝子治療、細胞療法、組織		
3.11	工学	2024/6/18	第一三共株式会社 三井田宏明
3.12	バイオ医薬品製剤の非臨床試験		
	<u> </u>		
	SECTION 4. 製剤開発		
4.3	化合物の特性と目的とする使用法にあわせた剤型選択		
4.4	後発医薬品やバイオシミラー製品等の後続製剤を含めた製品最終化にむけての生物学的同等性、安定性、不純物、不適合性に関するイン・ビトロやイン・ビボの剤型テストの基礎	2024/6/20	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
4.1	ハ・イオ医薬品や先進医療を含めた原体と製品の製剤開発:剤型、製造と供給;ラベルと 外観:安定性と保存;純度;適合性;廃棄	2024/6/24	西岡孝章
4.2	経済的な新規化合物の1次製造と試験用・市販用製剤の2次製造		
4.5	試験薬の供給計画; 試験薬の包装とラベル;安定性と保存条件;薬剤の分配;残薬の	2024/7/2	旭川医科大学病院 臨床研究支援センター 神山直也
4.6	試験薬供給:マッチング・プラセボや対照薬の調整		
4.7	薬局法:役割、使用、ヒエラルキー	2024/7/4	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
	SECTION 5. 探索的開発(分子からPOCまで)		
5.1	目的とする適応症、バイオマーカー、有効性安全性の要件やエンドポイント、臨床試験や POC試験に進むうえでの'go' 'no-go' の意思決定.	2024/7/4	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
5.2	ヒトへの投薬開始前に必要とされる非臨床データとリスクの評価		
5.3	探索的第0相試験:探索的なマイクロトース、や治療量以下の用量での試験;マイクロトース、 の意義、限界、適用(ICH M3)	2024/7/8	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
5.4	早期臨床開発の計画: 探索的開発試験: -FIHからPOCへ -モデリングとシミュレーション -ヒトでの忍容度、代謝、PK、PD、安全性 -患者や健常人における安全性評価 -用量漸増の安全性委員会(委員の要件と役割) -先進医療や薬物結合性器具に関する特別な配慮	2024/7/10	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
5.5	影響する内的外的要因;用量と蓄積、バイオアベイラビリティ、生物学的同等性、ポピュレー	2024/7/12	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
5.6	ファーマコシ゛ェネティクス/ファーマコシ゛ェノミクス		日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音

_			
5.7	FIHや後続の第2・3相試験での用量計画や試験デザインへのPKの活用を含めた、 FIH試験や早期臨床試験における開始用量や用量漸増計画	2024/7/16	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
5.8	FIH試験;患者と健常人;POCと用量設定試験の原則;POC試験のためのバイオマーカーの評価/バリデーション	2024/7/18	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
5.9	日的とした効能効果、用法用重と架物伝達概念/袋削; 垣加的に必要とされる動物 毒性要件: 再配合試験: 新たな薬理試験: 安全性リスクを評価し、継続開発の期間 中に適用するリスクマネジメント手法の開発が可能となるようなリスク予知のアルゴ	2024/7/23	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山琴音
			•
	SECTION 6. 検証的開発:戦略		1
6.1	臨床開発計画(CDP)のオプション; 資産リスクの評価と最小化; 検証的臨床開発計画のスケジュールと意思決定ポイント 要品開光計画(CDP)のオフンョン、要品用光報略とオケリン	2024/8/5	第一三共株式会社 岩垂 勇人
	レームワーク、後期開発品目におけるプロジェクトリスクマネジメントとコントロール、 ・ プリクスササーントフロントイナル(TPF)の ・ プリクスサーク・フェー・フィン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイ		
6.2	み、その機会とチャレンジ、検証的臨床試験プログラムに向けた開発意思決定の方法論とフレールローク	2024/8/7	第一三共株式会社 岩垂 勇人
6.5	ライフ・サイクル・マネジメントの計画: 追加適応や追加剤型の取得	2024/8/13	株式会社リニカル 吉田浩輔
6.6	フィードバックの入手と実行	2024/8/15	国立精神・神経医療研究センター 小居秀紀
6.3	グローバル医薬品開発について、検証的臨床試験に参加する国や地域の決定、異文化環境下で業務遂行する場合のベストプラクティス、ライセンスアウトや共同開発を行う際の他社とのアライメントを含めたグローバル調整やその計画について を対応来の開発フロフラムを対表的にマイーフリるにののフロフェフトアームマイ	2024/8/19	第一三共株式会社 岩垂 勇人
6.4	ジメント、重要となってくるチームワークスキル、コンフリクトマネジメント、効果的な	2024/8/21	第一三共株式会社 岩垂 勇人
補1	Discussion-1	2024/8/27	日本たばこ産業株式会社 長尾典明
補2	Discussion-2	2024/8/29	日本たばこ産業株式会社 長尾典明
	SECTION 7. <b>臨床試験</b>   非新性/  寝越性/  てい他のチッイン;ナラセホ/  てい他の対照架;対象とはる思有集凹;サ		
7.1 7.2	ンプルサイス、: 試験場所; 盲検化; エント、ホペイント; 統計解析方法の選択などを考慮した試験 まませんの選択 新しい試験デザインや必要な技術	2024/9/2	株式会社リニカル 吉田浩輔
7.3	製造販売後臨床試験;第4相臨床試験;非介入/観察研究;リアルワールト・テータ(RWD)の 創出;市販後研究;患者団体レジストリ	2024/9/4	東京大学医学部附属病院 東海康之
7.4	治験薬概要書:内容、レビューと更新維持	2024/ 3/ 4	日本たばこ産業株式会社 長尾典明
7.5	プロトコルの作成と修正		日午には6月末外以五江
7.16	「脚体試験 / 一 プリ 報 古 , / 一 プリ 共 有 と / ー / ノ / ー ブ 、 返 明 1 し、 未 慎 報 ロ / レ 」 一 、 十 火 き ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
7.17	臨床試験における特殊集団への配慮 (例:高齢者、小児、極端な年齢層(未熟児、新生児)、禁治産者、希少疾患患者)	2024/9/6	国立精神・神経医療研究センター 小居秀紀
7.6	臨床試験のフィージビリティの調査と試験責任医師の募集;試験前の訪問;試験医師説 明会と研修会		
7.7	試験施設のマネジメントと施設要件の評価を含めた試験管理	2024/9/10	欧州製薬団体連合会臨床部会 山中雅仁
7.8	試験医師やアカデミア/医療機関、CRO、SMOとの契約;出版の権利		
			· ·

7.9	臨床試験登録	•	
7.10	当該試験についての意思決定 例:コート・・プレイク、中間解析、データ安全性モニタリンク 委員会(DSMC)、早期終了		
7.11	試験薬の取り扱いと説明責任	2024/9/12	株式会社リニカル 大山誠一
7.12	有害事象の評価と報告:緊急時の対応	,	
7.13	モニタリングと原資料閲覧:臨床試験モニタリングの進化	ı	
7.14	トライアル・マスター・ファイル (TMF)	2024/9/18	住友ファーマ株式会社 津田達志
7.15	品質のマネジメント; SOP; 品質保証と品質管理; 独立した調査; 査察	2024/ 9/ 10	
統括	受講者発表とDiscussion	2024/9/20	日本たばこ産業株式会社 長尾典明
7.18	医療機器と医薬品結合型機器の試験	2024/9/24	ボストンサイエンティフィックジャパン株式会社 森 泰治
	SECTION 8. 倫理と法的課題		
8.1	倫理:原則、ヘルシンキ宣言を含む歴史、EU Directive 2001/20/EC、倫理審査、インフォームド・コンセント、被験者の安全性と尊厳、ICH GCPの役割とその他のGxPs	2024/10/2	栗原千絵子
8.9	試験のフォローアップ、試験薬の継続、承認前の活動、保険償還前の活動などに関する 倫理的課題	2024/10/4	栗原千絵子
8.13	発展途上国における臨床試験の倫理的課題	·	
8.3	被験者保護;特にCOIを回避するためのスポンサーと試験医師との責務		
8.4	科学的な理論、統計学的頑健さ、適切な被験者集団、比較対照薬やエンドポイントの選定を含めた、FIHから市販後研究・疫学研究におけるリサーチ・クエスチョンや試験デザインにおける倫理的課題;比較臨床研究における均衡の確保;COIの管理		栗原千絵子
8.14	バイオメディカル研究や臨床開発における虚偽と不正行為	•	
8.10	ケンムなどの解析を目的とした試験検体に関する倫理的課題:科学的理論、倫理的かつ匿名化の結果: バイオバンク	2024/10/10	栗原千絵子
8.11	特殊集団(例 高齢者、小児、緊急医療、禁治産者)における臨床試験の倫理的課 題	2024/10/10	未/
8.7	プライバシー、秘密保持、臨床試験データの保護と同意に基づく広範な利用に関する国際基準	2024/10/16	西村あさひ法律事務所 三村まり子
8.8	被験者・試験責任医師・施設の保障と保険;苦情への対応。		
8.5	データベース検索や広告を含めた被験者募集の方法に関する倫理的課題;被験者とのコンタクト;被験者への支払い	2024/10/22	東大医科研 藤原紀子
8.6	へ、ネフィットーリスクのバランスを含めたインフォームト・コンセントのプロセス、特殊集団(例 高齢者、小児、緊急医療、禁治産者)を含めた被験者の参加要件	2027/ 10/ 22	プトノ \   上
8.2	バイオメディカル研究と製薬医学における倫理的課題		
8.12	先進医療研究におけるステークホルダー間での倫理的課題(例 遺伝子治療、細胞療法、組織工学)	2024/10/24	栗原千絵子

2024/10/28 栗原千絵子

総括 レビュー

	試験デザインの統計学的見方		
9.1	基礎;ランダム化、エンドポイントの選択、バイアスの回避、データ欠損の回避、サンプルサイズの賃	2024/11/1	東北大学病院 臨床試験データセンター 小山田隼佑
9.2	中間解析;有効性、無益、毒性		
9.3	用量設定試験のデザイン	2024/11/7	  東北大学病院 臨床試験データセンター 邱士韡
9.4	同等性と非劣性の試験:理論、マーシンの選択	2024/11/7	米七八子
9.5	┃アダプティブ・デザイン;優位性、懸念、統計学的かつ運用上のバイアス回避を含む基本的オ		
	データマネジメント		
9.6	データ収集;患者日誌を含めた手動および電子的なデータのオプション		
9.7	調査票(CRF)のデザインと記入;原資料閲覧、クエリ作成と解決	2024/11/11	東北大学病院 臨床試験データセンター 邱士韡
9.8	データ処理;データ入力、有害事象のコード化、既往歴と併用薬;プロトコル違反と逸脱の硌	2024/11/11	
9.9	データベース:メインテナンス、セキュリティ、標準化、手順の簡素化、CDISC		
	解析のための統計学的方法		
9.10	基本:帰無仮説と対立仮説、タイプ1とタイプ2のエラー、p値、信頼区間、パワー、解析セット	2024/11/14	東北大学病院 臨床試験データセンター 小山田隼佑
9.15	ベイズ統計学:基本的考え	2021/11/11	NOTION CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE PROPE
9.11	エンドポイント;タイプ(連続、バイナリー/カテゴリカル、生存時間、評価スケール)、データ変換、1次		
	と2次のエンドボーイント、多重性の対応、変動の縮小	2024/11/19	東北大学病院 臨床試験データセンター 邱士韡
9.12	特定手法;シンプルな統計解析(パラメトリックとノン・パラメトリック)、オッズ比、リスク比、ハザード		
0.42	比、カプラン・マイヤー曲線、初期値の不均衡を矯正し、変動を縮小するためのモデリング		
9.13 9.14	均質性の評価: フォレスト・プロットとサブグループ評価、交互作用の解析   データ補完に際しての欠損への対応	ı	
9.14		,	
9.16	安全性データ;有害事象、検査値、その他の安全性関連データの評価に用いる図表	2024/11/21	┃ ┃東北大学病院 臨床試験データセンター 小山田隼佑
9.20	プロトコルの統計学的解析のセクション内容と統計解析計画	2024/11/21	宋北八子柳沈 師外武嶽ノーメセンダー 小田田宇旧
9.21	統計解析報告書の作成と臨床試験総括報告書および臨床論文への貢献;統計学		
	的解析に臨床的吟味を含める	1	
9.22	論文の批判的吟味		
9.17	診断(判断):感度、特異度、ROCカープの紹介		
9.18	メタ・アナリシス:区別とプーリング、固定効果モデルとランダム効果モデル	2024/11/25	東北大学病院 臨床試験データセンター 邱士韡
9.19	観察研究:バイアスを最小化するためのマッチング		
総括	受講者発表 & Discussion	2024/11/29	東北大学病院 臨床試験データセンター 小山田隼佑
	SECTION 10. 薬事 SECTION 11. 医薬品の安全性、ファーマコビジランス、薬剤疫学		
10.1	薬事の背景と一般則;管理メカニズムの進化;行政当局間での相違		インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社 大窪明代・
10.9	EU、アメリカ、その他の国々(ROW)の薬事体制と各国独自の規制要件	2024/12/3	
10.12	主要国における製造販売承認の準備と申請 (MAA, NDA, JNDA, CNDA)		サノフィ株式会社 岩森智子
10.4	医薬品開発に関連するGood Practiceについて(例 GMP,GLP,GCP, GPvP)		

10.10	CTA、継続と中止に関するEUの薬事規制とガイダンス;EUでの単独申請ポータル;大幅なプロトコル変更;透明性;EU、アメリカ、日本、その他の国での臨床試験規則	2024/12/5	インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社 大窪明代・
10.11	コモン・テクニカル・ト キュメント (CTD & eCTD). 臨床概論、臨床総括	2024/12/3	サノフィ株式会社 岩森智子
11.4	臨床試験における有害事象の情報収集		
10.5	承認取得前後の薬事対応の統括; 製品戦略の企画とレビュー		
10.6	新医薬品の評価と承認におけるEUでの薬事プロセス;科学的アドパイス;訴訟と仲裁の手順; EMA承認の維持、変更、取り下げに関する手順; フリファラルの手順;秘密保持と透明化	2024/12/9	インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社 大窪明代・ サノフィ株式会社 岩森智子
10.8	薬事手順;後発医薬品、バイオラシミラー		
10.21	医薬品への早期アクセスに関する規制と手順		
10.7	薬事手順;希少疾患、小児用医薬品、先進医療	0004/10/11	ᄮᇧᆿᄼᄺᅷᄼᆟ ᆸᅕᄞᄀ
10.15	未承認薬の提供と使用に関する規制条項	2024/12/11	サノフィ株式会社 岩森智子
	受講者発表 & Discussion	2024/12/13	
10.19	リスケ·マネジメント; EUのRisk Management Plan (RMP); アメリカのRisk Evaluation and Mitigation Strategies (REMS)、その他の承認薬に対するモニタリンク゛例 黒▼(EU)、黒枠警告(US)		
10.20	定期的ベネフィット・リスク評価報告(PBRER)、定期的安全性最新報告(PSUR)、治験安全性最新報告(DSUR)		
	承認後安全性試験;承認後有効性試験;医師主導試験		
	医薬品の安全性とファーマコビジランスにおける製薬専門家の役割		
11.2	有害事象(AEs), 副作用(ADRs), 重篤有害事象(SAEs)、重篤未知の副作用 (SUSARs)の評価と分類; 相関と因果関係のエビデンス.		グラクソ・スミスクライン株式会社・岡野 英幸 MSD株式会社 中井 高洋
11.3	へ、ネフィット・リスクのバランスの概念		
11.5	承認前後の段階で遊学事象は副作用疑いを評価し報告する場合の試験責任医師、主治医、試験モニター、スポンサーと製造業者の役割;承認前後の段階での薬事報告要件;医学文献報告	2024/12/17	
	有害事象の継続と重症度、リスク最小化における素因と共存疾患のインパクト		
	市販後の自発報告		
11.8	報告可能な事象;過量投与、投薬過誤、適応外使用、誤使用と乱用、妊娠中の服薬 経験		
	疫学的なファーマコビジランス情報の主な出所		
	シグナルの検出、解釈、管理		
	課題・危機管理などの承認後のリスク・マネジメント		
	リスク・コミュニケーション		
10.13	製品情報に関する規制: SmPC,添付文書,患者情報リーフレット	2024/12/19	日本イーライリリー株式会社 木戸啓司・

11.9	薬物相互作用	2024/12/23	ギリアド・サイエンシズ株式会社 横山 隆	
	薬剤疫学(2)データベースを活用したリアルワールドデータ研究について	2025/1/8	MD Concierge & Services株式会社 清水央子	
	処方薬と一般薬; スイッチOTC 偽造医薬品	2025/1/10	中外製薬株式会社 樽井行弘	
	製品に対する制限、中止、取り下げの手順;製品欠陥とリコール	2025/1/14	中外製薬株式会社 樽井行弘	
10.2	薬事的管理の原則; 国際機関(例; WHO、WMA、CIOMS、各国規制当局)からの 現実的なインプット	2025/1/16	エーザイ株式会社 Stewart Geary	
11.10	薬剤疫学(1)薬剤疫学の基礎、方法論、適用例	2025/1/20	日本医科大学公衆衛生学 准教授 大塚俊昭	
10.3	日米EU医薬品規制調和国際会議 (ICH).の活動と貢献	2025/1/24	第一三共株式会社 横田昌史	
10.17	医療機器に関する規制	2025/1/28	旭化成株式会社 原田洋一郎	
10.18	天然物に対する規制 例 ハーブ、シンバイオティクス、伝統療法、漢方薬	2025/1/31	日本医科大学医療管理学 特任教授 松山 琴音	
	SECTION 12. 情報、販売促進、教育			
12.1	患者と患者団体に向けた情報と開示;患者参画活動におけるコンプライアンス	2025/2/3	GSK株式会社 奥田 伊奈葉	
12.2	販促以外の製品サポート、医薬情報、医療関係者への直接通信(DHPC)、その他の活動;ライセンス前の活動	2025/2/5	大塚製薬株式会社 山戸健太郎	
12.7	市販後試験			
12.3	行動基準; 販促方針と手順; Good Promotional Practice; 承認前後の活動; 金品授 受の開示	2025/2/7	   ベーカー&マッケンジー法律事務所 立石竜資	
12.4	宣伝活動: レセプト、処方情報、メディアやデジタル広報、聴衆、コンプライアンス、倫理、管理、 承認	2020/ 2/ 1	・ カ は、 アプラン   海岸事物が 立山电真	
12.5	臨床試験と臨床研究の出版戦略	2025/2/13	MEDiSTRAVA合同会社 吉田久倫	
12.8	教育研修;スポンサーされた会議や論文出版.	2025/2/13	IMEDISTRAVA。IP云位 古田久圃	
12.6	臨床ガイドラインの作成支援	2025/2/17	公益財団法人 日本医療機能評価機構 森實敏夫	
12.9	医療技術評価の手法や研究に用いる患者嗜好性の特徴 例 離散選択実験 (DCE)、フォーカスグループ	2025/2/19	3Hホールディングス 可知健太	
	マーケティングの原則と実践;市場構造と競合;市場分析 価格と償還の戦略 例 バリューに基づく価格、参照価格、リスク分散方式、事前予算通	2025/2/21	   福岡大学商学部シチズンサイエンス研究センター 瀧川雅行	
13.4	知		THE STATE OF THE S	
SECTION 13. 保健医療の経済学、医療経済学、薬剤経済学				
13.1	保健医療の経済学、医療経済学、薬剤経済学の原則と手法		ギリアド・サイエンシズ株式会社 吉田真奈美	
13.2	エヒ゛テ゛ンス・ヘ゛ースト゛・メテ゛ィシン(EBM)	2025/2/27	京都大学 中山健夫	
13.3	健康関連QOL/患者報告アウトカム; 概念と測定方法	2025/3/3	株式会社インテージヘルスケア 小森谷祥明	
13.9	患者の医薬品アクセス;償還対象外の製品に対する別の支払い方法;シンプルな経済 インパクトモデルの準備	2025/3/5	IMSグループ 須藤夏樹	
13.5	市場アクセス、各国および地域の処方	2025/3/7	昭和大学 百賢二	
13.6	医療効率の測定;国際的な国家政策と第3者償還の原則	2025/3/11	中央大学・多摩大学 真野俊樹	

13.8	医療経済的なエビデンス、システマティック・レビューやメタ・アナリシス、医療技術評価 のアプレイザル	2025/3/13	国際保健医療大学 池田俊也
	業界の経済学∷後発医薬品、バイオラシミラー、並行輸入やスイッチ戦略を含めた競合、ライセ ンシング、コ・マーケティングとライフサイクルマネジメント	2025/3/17	GSK株式会社 浜崎泰成
総括	受講者発表 & Discussion	2025/3/19	GSK株式会社 浜崎泰成